

学生と野外点検をする地区の人たち



野外点検で発見した「お宝」
カードづくり

星野自治会（本地孝見会長）は六月四日、星野の魅力を再発見する「みんなで歩こう会」星野のお宝探し」を開きました。

午前中は、地区民五十八人と岩手大学の学生が八コースに分かれ、地区内の自然や歴史・文化、生活などの宝物を探す野外点検をしました。

歩いて回って再発見 星野自慢のお宝探し

地域 あれこれ



老人クラブ会員が集めた思い出の品々。
(移転前)

行われました。

参加者は「普段見慣れて

いて何とも思わなかったことを学生たちが見つつけてくれ、星野にもいい所がたくさんあると改めて感じました」と話していました。

この事業は、地域コミュニケーションづくりの一環として行われたもので、同大学が手伝いながら、今後二年間取り組まれます。次回は、地域マップづくりなどが行われる予定です。

旧江刈川分校の活用 農作業で地域と交流

盛岡市のことりさわ学園（情緒障害児短期治療施設）が月に1、2度江刈川地区を訪れ、旧江刈川分校を活動拠点として農作業などの体験学習を行っています。

6月5日は、同地区の林下政吉さんの指導で田植えが行われました。子どもたちは「楽しかった。疲れたけど良い経験になった」と話していました。

7月は、地区の人から教わりながら、ソバの種まきが行われます。



林下さんから田植えを教わる生徒たち

運び込まれた品物を懐かしむ地区の人たち



小田部落会（坂待純一会長）は六月十一日、やすらぎの家に展示していた昔の農具や生活用品などの移転作業を行いました。

農具など1500点 小田の宝物引っ越し